

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		09 05 10	中期総合計画主要施策番号		1-08,2-03		担当課	部・課	農政部 農地整備課	
事業名		県単農業農村整備事業(県単【農業農村整備】)				内線		3154		
						E-mail		nochi@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	国庫補助の対象とならない小規模な農業生産基盤の整備を行い、農業生産性の向上及び農業構造の改善を図る。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 土地改良区や水利組合は、組合員の賦課金等により水路等を維持管理しており、財政基盤が厳しい状況の中、小規模な改修要望が増加し、更新整備への対応が懸念されている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 国庫補助対象要件は受益面積が最低5ha以上であり小規模な改修等が対象とされていないため、土地改良区等から事業実施に対する強い要望がある。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 土地改良区等に対し、国庫補助事業の対象とならない小規模な農業生産基盤整備への財政支援を行い、農業経営の近代化、生産性の向上及び農村の活性化を図る。								
		土地改良区等が事業主体となって実施する農業用排水施設等の新設、改修、補修 (補助率:【県】40%【土地改良区等】60%)								
		事業内容								
	実施期間	S42 ~	根拠法令等	土地改良事業等補助金交付要綱						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	末端農業水利施設の計画的な更新・整備により農産物の安定生産と品質確保を図る。 「第6次長野県土地改良長期計画」における期間内整備目標(末端農業用水利施設の更新延長530km(H20~H24))		・平成20年度整備目標は106kmとする。 (目標に対する進捗20%)			・H20年度は85kmを実施した。 生態系及び親水性等に配慮し、地域住民の参画も得た計画で実施した。 小規模水路の目地補修等を行い、水路の長寿命化が図れた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	54,900	53,200	47,880	国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円	54,900	53,200		実施方法 補助			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	54,900	53,200	47,880	歳出節別内訳等			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	3.40	3.40	3.20	予算現額(最終予算額+繰越額等) 53,200 単年度事業 (単位: 千円)			
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	54,900	53,200	47,880				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	実施地区数		地区	31	30	29	調整池分水工の補修、揚水機の補修、畑地かんがい施設の補修			
	水路整備延長		m	2,314	3,513	2,500				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・事業の実施要望は、ほぼ平均化している。 ・地域における重要な社会資本の整備であり、実施要綱等に基づき、今後も県が関与して実施していく必要がある。 ・部分補修等を導入しするなどコスト縮減に努め、経済的かつ効率的に実施している。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		土地改良区等が要望する、国庫補助事業の対象とならない農業生産基盤の補修や改修事業について、事業内容を精査し、計画的かつ効率的に支援する必要がある。							